

(4) 他の教科の免許状を取得する方法（別表第4）

中学校及び高等学校の免許状を基礎にして、同校種のお教科の免許状を取得します。

①中学校教諭の普通免許状（別表第4）

授与を受けようとする 他の教科についての免 許状の種類	有することを必要と する免許状	最低修得単位数 ※1			
		教科に関 する専門 的事項に 関する科 目 ※2	各教科の 指導法に 関する科 目 ※3	大学が独 自に設定 する科目 ※4	合計
中学校教諭専修免許状	中学校教諭専修免許 状	20	8	24	52
中学校教諭一種免許状	中学校教諭専修免許 状又は中学校教諭一 種免許状	20	8		28
中学校教諭二種免許状	中学校教諭専修免許 状、中学校教諭一種 免許状又は中学校教 諭二種免許状	10	3		13

【最低修得単位数】

※1 大学の認定課程や認定講習等において修得するものとする。(単位の修得時期は問わない。)

※2 『教科に関する専門的事項に関する科目』

次ページの免許教科の種類に応じた科目について、認定課程のある大学でそれぞれ**一般的包括的内容を含み**1単位以上を修得するものとする。なお、受講しようとする科目が一般的包括的内容を含むのかについては、講座の開設者に事前に確認した上で受講すること。

※3 『各教科の指導法に関する科目』

当該教科の指導法の単位を修得しなければならない。

※4 『大学が独自に設定する科目』

(1) 専修免許状に係る『大学が独自に設定する科目』のうち24単位については、大学院の課程又は大学(短期大学を除く。)の専攻科の課程において修得するものとする。

(2) 『教科及び教科の指導法に関する科目』、『教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目』、『教育実践に関する科目』、大学が加えるこれらに準ずる科目又は指定大学が加える科目を修得するものとする。

中学校の教科に関する科目

教科	教科に関する専門的事項	教科	教科に関する専門的事項
国語	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	技術	材料加工(実習を含む。)
	国文学(国文学史を含む。)		機械・電気(実習を含む。)
	漢文学		生物育成
	書道(書写を中心とする。)		情報とコンピュータ
社会	日本史・外国史	家庭	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)
	地理学(地誌を含む。)		被服学(被服実習を含む。)
	「法律学、政治学」		食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)
	「社会学、経済学」		住居学
	「哲学、倫理学、宗教学」		保育学
数学	代数学	職業	産業概説
	幾何学		職業指導
	解析学		「農業、工業、商業、水産」
	「確率論、統計学」		「農業実習、工業実習、商業実習、水産実習、商船実習」
	コンピュータ	職業指導	職業指導
理科	物理学		職業指導の技術
	化学		職業指導の運営管理
	生物学	英語	英語学
	地学		英語文学
	物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験		英語コミュニケーション
音楽	ソルフェージュ		異文化理解
	声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	宗教	宗教学
	器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)		宗教史
	指揮法	備考	「教理学、哲学」
	音楽理論・作曲法(編曲法を含む。) ・音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)		1 教科に関する専門的事項は、一般的包括的内容を含むものでなければならない。
美術	絵画(映像メディア表現を含む。)	2	英語以外の外国語の免許状の授与を受ける場合の教科に関する専門的事項に関する科目の単位の修得方法は、それぞれ英語の場合の例によるものとする。
	彫刻		
	デザイン(映像メディア表現を含む。)		
	工芸		
	美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	3	「」内に示された事項は、当該事項の中から1以上について単位を修得すること。 なお、「農業、工業、商業、水産」の修得方法は、これらの科目のうち2以上の科目(商船をもって水産と読み替えることができる。)についてそれぞれ2単位以上を修得するものとする。
保健 体育	体育実技		
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)		
	生理学(運動生理学を含む。)		
	衛生学・公衆衛生学		
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)		
保健	生理学・栄養学		
	衛生学・公衆衛生学		
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)		

②高等学校教諭の普通免許状（別表第4）

授与を受けようとする他の教科についての免許状の種類	有することを必要とする免許状	最低修得単位数 ※1			
		教科に関する専門的事項に関する科目 ※2	各教科の指導法に関する科目 ※3	大学が独自に設定する科目 ※4	合計
高等学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状	20	4	24	48
高等学校教諭一種免許状	高等学校教諭専修免許状又は高等学校教諭一種免許状	20	4		24

【最低修得単位数】

※1 大学の認定課程や認定講習等において修得するものとする。（単位の修得時期は問わない。）

※2 『教科に関する専門的事項に関する科目』

64、65ページの免許教科の種類に応じた科目について、認定課程のある大学でそれぞれ**一般的包括的内容を含み**1単位以上を修得するものとする。なお、受講しようとする科目が一般的包括的内容を含むのかについては、講座の開設者に事前に確認した上で受講すること。

※3 『各教科の指導法に関する科目』

当該教科の指導法の単位を修得しなければならない。

※4 『大学が独自に設定する科目』

（1）専修免許状に係る『大学が独自に設定する科目』のうち24単位については、大学院の課程又は大学（短期大学を除く。）の専攻科の課程において修得するものとする。

（2）『教科及び教科の指導法に関する科目』、『教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目』、『教育実践に関する科目』、大学が加えるこれらに準ずる科目又は指定大学が加える科目を修得するものとする。

高等学校の教科に関する科目（２－１）

教科	教科に関する専門的事項	教科	教科に関する専門的事項
国語	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	保健 体育	体育実技
	国文学(国文学史を含む。)		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)
	漢文学		生理学(運動生理学を含む。)
地理 歴史	日本史		衛生学・公衆衛生学
	外国史	保健	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)
	人文地理学・自然地理学		「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」
	地誌		衛生学・公衆衛生学
公民	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	看護	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」		「生理学、生化学、病理学、微生物学、薬理学」
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		看護学(成人看護学、老年看護学及び母子看護学を含む。)
数学	代数学	家庭	看護実習
	幾何学		家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)
	解析学		被服学(被服実習を含む。)
	「確率論、統計学」		食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)
	コンピュータ		住居学
理科	物理学	情報	保育学
	化学		情報社会(職業に関する内容を含む。）・情報倫理
	生物学		コンピュータ・情報処理
	地学		情報システム
	「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」		情報通信ネットワーク
音楽	ソルフェージュ	農業	マルチメディア表現・マルチメディア技術
	声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)		農業の関係科目
	器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	工業	職業指導
	指揮法		工業の関係科目
	音楽理論・作曲法(編曲法を含む。）・音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)		職業指導
美術	絵画(映像メディア表現を含む。)	商業	商業の関係科目
	彫刻		職業指導
	デザイン(映像メディア表現を含む。)	水産	水産の関係科目
	美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)		職業指導
工芸	図法・製図	商船	商船の関係科目
	デザイン		職業指導
	工芸制作(プロダクト制作を含む。)	福祉	社会福祉学(職業指導を含む。)
	工芸理論・デザイン理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。)		高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉
書道	書道(書写を含む。)		社会福祉援助技術
	書道史		介護理論・介護技術
	「書論、鑑賞」		社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)
	「国文学、漢文学」		人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解
			加齢に関する理解・障害に関する理解

高等学校の教科に関する科目（２－２）

教科	教科に関する専門的事項	備考
職業指導	職業指導	1 教科に関する専門的事項は、一般的包括的内容を含むものでなければならない。 2 英語以外の外国語の免許状の授与を受ける場合の教科に関する専門的事項に関する科目の単位の修得方法は、それぞれ英語の場合の例によるものとする。 3 「 」内に示された事項は、当該事項の中から1以上について単位を修得すること。
	職業指導の技術	
	職業指導の運営管理	
英語	英語学	
	英語文学	
	英語コミュニケーション	
	異文化理解	
宗教	宗教学	
	宗教史	
	「教理学、哲学」	